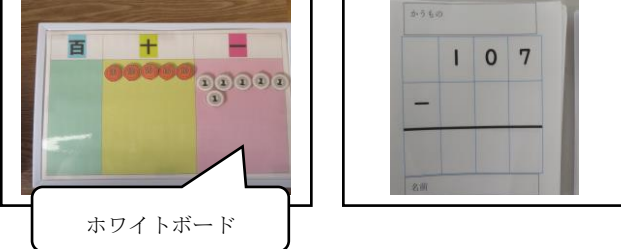


【作品名】 かいものごっこをしよう(第2学年)	【学校名】 日立市立大みか小学校
【活用できる領域・教科等】 算数(第2学年 たし算とひき算のひっ算)	【制作者名】 宮本 留美子
【制作の意図】 児童たちが大好きなごっこ遊びを行いながら、繰り上がりのある引き算の筆算の仕方を自然と学ぶことができる。 駄菓子屋の具体物を用いることで学習活動への関心を高める。さらに、ホワイトボードで位取り板を作成し、そこに貼り付けた磁石玉を操作することで繰り下がりのあるひき算の正しい計算方法を理解することができる。	【使用方法】 小集団指導では、駄菓子屋さんとお客さんに分かれて買い物ごっこを行う。個別指導では、児童はお客さん、教師が駄菓子屋さんになると良い。 児童は、好きな駄菓子を1つ選んで購入し、さいふに何円残るかをマス目つきメモに計算して求め、駄菓子屋さんに〇をもらう。計算方法が分からなくなった時には、位取り板と磁石玉を使って計算方法を教師と一緒に確認する。 計算したメモは、選んだ駄菓子の種類ごとに掲示すれば友達の答えと比較検討できる。
【制作上の工夫】 本物の駄菓子屋さんのように、かごに入れて提示し、楽しみながら活動ができるようにした。 また、位取り板と磁石玉は一人ずつ準備し、計算方法に迷ったときにすぐに使用できるようにした。	【見取り図】 駄菓子屋さんごっこの具体物(かごに入れる) グミ ラムネ チョコレート わたがし うまいぼう あめ ガム クッキー 位取り板と磁石玉 計算メモ
【写真】 	 ホワイトボード
【材料・材質・部品等】 ・駄菓子屋さんごっこの具体物…駄菓子、値札 かご ・位取り板…ホワイトボード ・磁石玉…1 10 100 の磁石玉(パウチをしてマグネットシートを貼る) ・マス目つき計算メモ…紙 ・買い物用キャッシュカード…紙	【使用効果と応用発展】 ごっこ遊びが大好きな低学年児童にとって、学習への興味を高めるために効果的であり、買い物という生活に密着した場面を課題にすることで、繰り下がりのある減法の学習の必要性を実感することができた。 応用として、もっと大きな数の計算についても学習したいという意欲を高めたり、たし算の筆算の場面でも使用したりすることができる。